

薬 剤部門の使命

新型コロナウイルス感染症が国内で初確認されてから約3年が経過しました。新型コロナウイルス感染症治療の手引きも改定を重ね、現在では治療方法がほぼ確立されてきています。しかし、新型コロナウイルスはインフルエンザなどと同様に変異を繰り返すため、つい先日まで治療薬として使用できたものがウイルスの変異

によって、あっという間に効果が減弱する可能性があります。ウイルス変異株とのいたちごっこが繰り返されているなかで、抗原定量検査、抗体検査、PCR検査などの結果を参考に、最適な薬を選択し治療が行われています。最善の診療が行える様、薬剤部門の使命として治療薬の十分な量の供給に努めています。



注射器にワクチンを充填する様子

国内での新型コロナワクチンの接種を推進するため、ワクチン接種の担い手である医療従事者不足の課題解決の手段のひとつとして、関係部署からの要請を受け集団接種会場のワクチン充填をするために当院の薬剤師も協力しました。2021年2月ごろより新型コロナウイルスのワクチン接種が始まった当初から、薬剤師が注射器にワクチンを充填して接種が円滑に行えるように支援しています。

2021年7月に世界初の新型コロナ内服治療薬が発売され、2023年2月の時点で、日本国内で承認されている治療薬は内服薬が4種類、注射薬が5種類あります。内服の新型コロナ感染症治療薬のいくつかは、いつも服用しているお薬と飲み合わせの相性が悪いものがあるので、一緒に服用しても大丈夫か確認を行ったあと患者様に払い出しています。

今年の5月中旬以降から、新型コロナウイルス感染症は2類感染症から5類感染症に変更となるので、今まで行われてきた対応策は撤廃されますが、コロナ感染症がなくなるわけではありません。これからも患者様に安心・安全な医療が提供できるよう支えていきたいと考えております。

薬剤部門 主査 泉原 里絵

患者サポートセンターの役割

患者サポートセンターの役割は多岐にわたります。

その機能を大別すると、前方支援、後方支援、入院前・後支援、総合案内と分類されます。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行以来、それぞれの領域において、感染防止対策への対応を行いました。

他医療機関からの紹介受入窓口である前方支援においては、地域外来・検査センターいわゆるPCR検査センターの他医療機関からの検査受入窓口を担いました。それ以外にも、ご紹介いただく患者様の症状によりCOVID-19の鑑別検査の実施の調整やCOVID-19やその合併症の患者様の受入調整を行いました。

患者様の退院・転院調整を主に行う後方支援では、COVID-19罹患後のリハビリ目的の転院も多く調整しました。またご自宅へ退院される患者様の場合には、在宅サービス事業者の方々との退院前カンファレンスの開催について、WEBカンファレンスを導入するなど、さまざまな方法で情報共有を行い、スムーズな退院に向け尽力しました。

入院前・後支援では、入院の申込時や入院当日に、入院前PCR検査の実施説明やご自宅での生活について情報収集しています。個別ブースでの対応になるため、十分に感染対策に留意しつつ、じっくり丁寧にお話しを聞かせていただくように心がけています。

総合案内の窓口にはさまざまな人が困りごとを持ってご相談に来られます。加えて、COVID-19感染症の

院外からの持ち込みを防止するという役割が求められています。直接来院された患者様の症状をうかがい、適正な診療科への振り分けを行っていますが、中には、COVID-19を疑う症例も散見されます。窓口として、丁寧に聴き取りを行い、各部署と協力しながら適正な受診案内に努めています。

患者サポートセンターは院内・外をつなぐ窓口として、『安心を届けるサポートセンター ～入院前から退院後も一人ひとりを支えます～』のスローガンを掲げて丁寧な支援を目指しています。ご不明なこと等ございましたら、お気軽にスタッフにお尋ねください。

患者サポートセンター副センター長
兼 医療マネジメント課長 兼 地域医療連携室長

中西 賢



▲総合案内



▲問診風景 (個別ブース)